

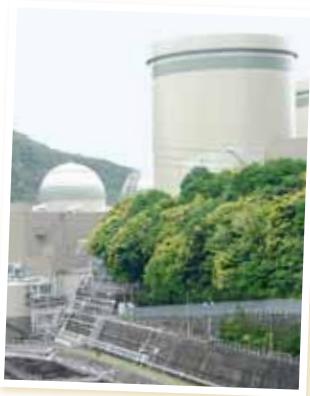
1月22日告示、2月5日投票の京都市長選挙は、市民の命・くらしがかかった大切な選挙です。こんどこそ、市政を変えて、京都から新しい日本の政治を切り開きましょう。

京都から「脱原発」宣言 「再稼働」は認められない

放射能の危険から子どもと市民を守るには、「原発ゼロ」をめざす市長が必要。「全原発の廃炉」方針を決めた福島県に続き、京都から「脱原発」を宣言し、再稼働をやめさせましょう。

「安全神話」に固執し、
「再稼働」に反対しない 現市長

福島原発事故がおこっても、「京都市域には大きな影響がない」と発言してきた現市長。11月市会で、危険な原発の再稼働について問われても、「国が判断するもの」「安全性を確保するよう国に働きかける」として、反対を表明しませんでした。



▲関西電力の高浜原子力発電所

消費税増税 TPP参加

野田内閣の暴走にストップ



▲TPP反対京都集会のパレード

野田民主党政権は、アメリカいいなりのTPP参加表明に続き、消費税増税と社会保障削減の「一体改悪」計画をまとめ、今年の通常国会に法案を提出しようとしています。

公約違反の消費税率引き上げもTPP参加も、京都の経済と市民のくらしに重大な打撃をあたえる暴挙ですが、現市長は、これに反対を表明していません。

消費税増税・TPP参加にキッパリ反対を

市民とともにキッパリと反対する市政の実現で、野田内閣の暴走に地方から声をあげましょう。

2012年1月
日本共産党京都市会議員団

「政治を変えたい」はみんなの願い くらしの悲鳴に応える市政を



高すぎる国保料の
引き下げを

公契約条例の
制定を

子どもの医療費を
小学校卒業まで無料に

住宅リフォーム
助成制度の実現を

日本共産党は、自民・民主・公明の相乗りによる「オール与党」市政とキッパリ対決。「政治を変えたい」「くらしを良くしたい」と願う市民との共同で、市政を変えるため全力をつくします。

こんな市政の継続では くらしは大変です

くらし切り捨て

国保料 生活保護費からも 滞納分を徴収

国保料を3年連続で値上げし、引き下げは拒否。国保会計は3年連続で黒字です。資格証明書発行は過去最高、差し押さえは3.5倍に急増してい

ます。11月市会では、最低生活費である生活保護費からも滞納分を徴収していることが明らかになりました。

介護 「高い保険料」を さらに引き上げ

介護保険料は4月から全国平均1000円の引き上げに。京都市の基準保険料は今でも4510円と高い

のに、1000円引き上げられたら、くらしは大変。介護保険料・利用料の負担軽減こそ必要です。

教育 学校間の格差を 放置したまま

「財政が厳しいから」と全体の学校教育予算を減らし、プールサイドのひび割れ、教室の雨漏りなどが放置されました。学校経常運営費も03年度から10年度まで約9億円減らしています。

さらに！ 福祉・教育など250億円切り捨て

4年間で250億円の削減をすすめる新たな福祉・教育削減計画が「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画。

削減の検討対象として65項目115事業があがっていますが、敬老乗車証や母子家庭医療費支給事業から学童う歯対策事業、高校生奨学金まで、くらしに大きな影響があるものばかりです。

11月市会で、「市長選挙の前に削減計画の中身を示せ」と追及しましたが、「事業総点検の結果は年度内に」と答弁。市長選後まで明らかにしない無責任な態度です。



母子家庭医療費支給事業や学童う歯対策事業などの削減は、子育て真っ最中の市民をさらに苦境に追い込むものです。具体的な内容は選挙後といふのは許せません。（下京区・女性）

560億円のムダづかい

試運転中に8回も事故

危険な事故を繰り返している焼却灰溶融施設。本格稼働すれば、建設費とあわせ20年間で560億円必要ですが、「必要不可欠な施設」「安全な施設として完成させる」と本格稼働に固執しています。



溶融施設はまたもトラブルをおこし、運転はストップ。それでも「稼働させる」という京都市に改めて怒りを覚えます。（伏見区・女性）



▲事故現場を視察（12月2日）

明白な公約違反

「充実」のはずが「廃止」に

公約で「充実を検討」としていた市立看護短大。突然「廃止」の方針を打ち出し、「存続」を求める学生・同窓生らの声や、市議会で一度否決された経過も無視して、「廃止」をゴリ押ししました。

4年間の逮捕者15人！

「1年内の職員不祥事根絶」どころか、覚せい剤使用による逮捕も含め、4年間の逮捕者15人、懲戒免職15人（12月現在）と深刻な事態です。

